



ニュースリリース

報道関係各位

2018年7月17日

Snips、ブロックチェーンベースの新しいAI音声アシスタントで 日本のコネクテッドホームのプライバシーを保護

「Snips AIR」によって、クラウドを介さず音声データをさまざまな家庭用デバイスに接続可能

コネクテッドデバイスに搭載する音声プラットフォームを開発するフランスのスタートアップ、Snips（スニップス）社は、コネクテッドホームデバイスにおけるプライバシーを守る初の音声プラットフォーム「Snips AIR」を発表しました。2019年末に提供開始予定の「Snips AIR」は、プロセス全体を通してプライバシーを考慮する「Private-by-Design」に準拠した分散型プラットフォームで、これまでの音声アシスタントに取って代わるソリューションです。「Snips AIR」は、ユーザーのデータをクラウドに保存することなく、デバイス上ですべてのデータを処理するため、家族の個人データをスマートホーム内にとどめることができます。

Snips は、あらゆるデバイスに AI アシスタントを搭載することで、テクノロジーを意識させない直感的な操作を可能にします。2017年6月から提供が開始されている Snips のプラットフォーム上では、1万4,000以上のデベロッパーが登録されており、すでに2万4,000以上の音声アシスタントを開発しています。現時点で、日本語版、英語版、フランス語版、ドイツ語版が利用可能で、2020年までに中国語版と韓国語版が追加される予定です。

Snips にとって、日本は東アジア地域における重要な市場の一つです。Snips は今年6月に、日本語版の音声テクノロジーを発表しました。また、Snips はイノベーションプラットフォーム Plug and Play に採用されており、この夏開催される Plug and Play IoT Japan で紹介されます。Snips は、年内に日本で製品を販売するために日本のメーカーと最終的な協議を進めています。2018年秋までに合同プロジェクトを実施できるよう、パートナー企業の選定にあたって Plug and Play Japan の支援を受けます。

Snips はこれまでに、Korelya Capital、MAIF Avenir、BPI France、Eniac Ventures などの投資会社から2,200万ユーロの資金を調達しています。Snips を率いるランド・ヒンディは、MIT テクノロジーレビューの「35歳未満のイノベーター35人」およびフォーブス誌の「30アンダー30（30歳未満の重要人物）」の起業家にも選ばれています。

現在普及している音声アシスタントは、機械学習モデルの質を改善する目的でユーザーのデータをクラウドに送信していますが、それによって家族のプライバシーが侵害され、個人データが乱用される恐れもあります。アマゾン、ユーザーに対し、リスニングデバイスを家庭の各部屋に設置するよう推奨していますが、ユーザーは依然として個人情報漏洩し不特定の人に送信されてしまうという問題に直面しています。



Snips は、エッジコンピューティングと AIR ネットワークブロックチェーンを利用し、ユーザーが自分のデータを管理できる分散型プラットフォームを構築することで、この問題を解決します。Snips の技術によって、データはすべてローカルデバイスで処理され、クラウドのバックエンドに送信されることはありません。そのため、「Snips AIR」は、ユーザーについての情報を入手しなくても、大量監視やハッキングからユーザーを守ることができます。

Snips の創業者兼 CEO であるランド・ヒンディは次のように述べています。「既存の音声アシスタントには、個人データの集中管理、プライバシーの侵害、ユーザーや開発者のエクスポイテーション（脆弱性の悪用）といった、今日のインターネットにまつわる問題が表れています。2019 年後半に発売される『Snips AIR』は、プライバシーの保護について懸念されているご家庭に、これまでの製品に代わるソリューションを提供します。」

「Snips AIR」は、日常のあらゆるシーンで、ホームオートメーション（照明の管理、温度調節、窓の開閉）、天気、マルチメディア、料理、日付・時刻、カレンダー、リマインダーなど、多くのビルトインアプリに搭載可能です。開発者は、「Snips AIR」向けに追加アプリを開発し、Snips の分散型アプリストアでリリースすることができます。

OEM 企業は、自社製品に Snips アシスタントを搭載し、ユーザーのプライバシーを守りながら、アプリストア、開発者コミュニティ、AIR ブロックチェーンといった Snips の音声エコシステムを活用することができます。

「Snips AIR」の仕組み：ユーザーと開発者にとって公正なモデル

ユーザーは、AIR ブロックチェーンを利用し、分散型台帳のネットワークを通じて学ぶ機械学習モデルに暗号化したデータを送信することで、そのメリットを享受できます。アプリケーション開発者は、処理されたデータを収集し、暗号化されたユーザーのデータを含んだ新しい機械学習モデルを得られます。AI は、関連性のある暗号化された学習を利用してブロックチェーン上で学習するため、ユーザー自身は自分の個人データをさらしてプライバシーを漏らすことはなく、開発者はユーザーのデータを活用して新しいアプリケーションを Snip AIR プラットフォームに追加できます。

Snips アプリストアは、トークンキュレーション型のマーケットプレイスであるため、開発者のコミュニティは検閲を受ける心配をせずにプラットフォームを活用できます。Snips は、集中型のアシスタントとは異なり、開発者の開発に口出しすることはありません。開発者コミュニティは、携帯アプリストアでしばしば発生する集中型の検閲を受けることなく、自らの判断でアプリストアをキュレーションし、高品質のアプリだけがリリースされるようにできます。



さらに詳しい「Snips AIR」の情報は同社ウェブサイト（英語） <https://air.snips.ai/> をご覧ください

Snips について :

Snips は、2013 年に 3 人の博士によって設立されました。あらゆるデバイスに AI 音声アシスタントを搭載し、テクノロジーを意識させないほど直感的に操作できることを目指しています。Snips は、産業向けデバイスメーカー向けに、音声アシスタントテクノロジーをホワイトラベル・ソリューションとして提供しています。

Snips は、他の音声ソリューションと違い、データをすべてデバイス上で処理し、クラウドに一切送信せず、Private-by-Design と EU 一般データ保護規則（GDPR）に準拠しています。Snips はパリとニューヨークに 60 人以上の従業員を擁し、現在までに 2,200 万ユーロの資金を調達しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

Snips Communications, Snips.ai

Ms Genia Shipova（英語か仏語）

TEL: +33-66-742-2042

Email: genia.shipova@snips.ai

Snips 広報代理

エデルマン・ジャパン株式会社 担当：良知

TEL: 03-4360-9000

E-mail: kanae.rachi@edelman.com